



活気溢れる「朝の活動」part2

昨日、活気溢れる朝の活動と題して通信に書きましたが、まだまだ書き足りず、part2として追記します。昨日13日(水)の朝は、たてわり班活動や、生活委員会が考えたイベント「朝のスッキリ活動」も行われました。生活委員会が、毎週水曜日の朝からボランティア活動に取り組むように呼び掛けています。①は、おひま広場で学級園のお世話をしている低学年の様子です。②は、クスノキの落ち葉を掃いてくれている中学年の様子です。「今日は晴れているので外に出て、7時45分から55分まで学校をきれいにしましょう。」という放送でスタートした活動は、「スッキリ活動ありがとうございました。おかげで学校がきれいになりました。帯西イエローの心は育ちましたか?来週も頑張りましょう!」という放送で終了します。もちろん有志の活動ですが、朝からたくさんの子供たちが参加してくれることに感謝しています。

「朝のスッキリ活動」の後は、たてわり班活動が行われました。③は、ジェスチャーゲームに興じる班の様子です。「サッカー」というお題が出て、それを体で表現しています。④は、伝統遊び「花いちもんめ」をしている班の様子です。歌を知らない子供もいますので、上級生から教えてもらって楽しそうに遊んでいました。⑤は、鬼ごっこをしている班の様子です。暑い中でしたが、木陰の中を動き回っていました。

たてわり班活動は、異年齢での交流活動です。1年生から6年生までの発達段階が大きく異なる子供たちが集まり、遊んだり話し合ったりしています。そこでは「帯西グリーン」の心をはたらかせて、互いに思いやる心を育てています。また、最高学年の6年生は「帯西イエロー」の心をはたらかせて、責任を果たしながら、活動を通して自己有用感を高めています。下級生は、上級生の思いやりのある行動や優しい声掛けを通して、「帯西グリーン」の心を味わいながら、他者との接し方を学んでいきます。一昔前の様に、地域のどこかで異年齢で遊ぶような機会が減ってきた今だからこそ、たてわり班活動は有意義な時間だと思います。

